

耐水お名前シール(写真)

LB-NAMEJP26FN

 最新の情報、テンプレートのダウンロードについては、用紙専用サイト「ペーパーミュージアム」
<http://paperm.jp/> または、<http://www.sanwa.co.jp/>へgo!

使用方法

用紙設定について

対応ソフトの「用紙選択」の画面で、「サンワサプライ LB-NAMEJP26FN」又は「LB-PKJP4」を選んでください。もしない場合は、各ソフトのマニュアルに従って、用紙を新たに登録してください。特別なソフトがない場合は、無償でWordなどで使えるテンプレートがダウンロードできます。詳しくは、上記サイト「ペーパーミュージアム」の「テンプレート」コーナーをご覧ください。または、同梱されている「テンプレートの使い方」をご覧ください。

用紙の微調整

このシールに印刷する前に付属のテストプリント用紙でテスト印刷をして印刷位置の確認をしてください。(テストプリント用紙は必要に応じてコピーしてお使いください。)なお、プリンタの使用頻度・使用環境などにより、まれにテストプリント用紙で位置を合わせても本番の用紙で多少ズレが生じることがあります。その際は、プリンタ内部の掃除をお試しください。また、多少印刷がズレても良いよう、シールギリギリのデザインをされない事をおすすめします。

印刷について

- 1)用紙サイズを必ず「ハガキ」にしてください。
- 2)文字が印刷されていて、より白い面が印刷面です。印刷面がプリンタのノズル側にくるように用紙をセットしてください。また上下方向がありますのでプリンタにセットする時はご注意ください。
- 3)この用紙は手差しで1枚1枚給紙してください。(うまく給紙できないときは、用紙の下に同梱されている表紙やコピー紙など、厚手の紙をおいて下さい。)
- 4)使用するプリンタの機種によりわずかに濃淡の差がでることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。また、プリンタ各種に応じてカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度を調節してください。
- 5)シールを貼る面の水分や油分、ゴミやホコリなどの汚れを取除いてきれいにし、印刷が乾いてからシールを貼ってください。注:シートがカールしていると、印刷汚れのでる原因となります。カール(反り)を必ず直してから印刷してください。

印刷の際には下記のモード設定でご使用いただく和良好的画像を得ることができます。

プリンタ	用紙設定	印刷モード
エプソン 1	EPSON写真用紙 / PM・MC写真用紙	きれい
キヤノン	プロフォトペーパー / スーパーフォトペーパー	きれい
hp・NEC 2	光沢紙 / 専用紙	高精細 / ベスト / 高品位

- 1.エプソンプリンタ PM-4000PX、PX-G・V・Aシリーズなどの顔料系インクにも対応していますが、印字部分の光沢感が若干損なわれますのでご注意ください。(別売のマットブラックインクには対応。)すぐに乾燥はしますが、インクを十分に乾燥させるため印刷後はなるべく24時間以上印刷面に触れないように乾燥させてラベルを貼り付けてください。画像が乱れる場合があります。また、ラベル貼付後も表面をこすらないようご注意ください。
- 2.hp・NEC製のプリンタで顔料系の黒インクを使用する場合(顔料系インクは水分と摩擦によりはげることがあります。)
 1.耐水性を優先する場合は光沢紙を選んでください。 2.画質を優先する場合は専用紙を選んでください。

使用上の注意

印刷前にラベルをはがすことはプリンタトラブルの原因にもなりますのでお避けてください。

一部のラベルに印刷し、ラベルをはがした後の用紙を、再度残りの部分の印刷のためにプリンタに通さないでください。プリンタトラブルの原因になります。印刷はラベルをはがす前に完了させてください。

印刷面をこすったり、傷つけたり、折り曲げたりしないでください。

用紙がカールしたり、シワにならないように取扱ってください。万一、カールしたら必ずカールを直してから使用してください。また、この時、用紙の表面が波状にならないように注意してください。

万年筆や水性ペンで書くことにじむ恐れがありますので、ご確認のうえご使用ください。

水濡れや直射日光・経年変化により、印刷部分が変色することがあります。

プリンタの種類、プリンタの印刷モード、インク、ドライソフトなどにより、画像色・画像の精細さが変わることがあります。コピー機、レーザープリンタ、ドットプリンタ、熱転写プリンタ、アルプス社製のマイクロドライプリンタなどインクジェットプリンタ以外では使用できません。

用紙は必要なだけ取出し、開封後はなるべく早めにお使いください。

本製品を噛めたり、口に入れたりしないでください。

保管上の注意

使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で水平に保管してください。外で長時間放置いたしますと、反りが発生したり変色する可能性があります。

高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れ(空調など)のある場所を避けて保管してください。

開め切った車内やトランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。

万一、製造上の不備がございました場合は、同数の新しい製品とお取替えいたします。それ以外の責任はご容赦いただきます。本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についてのお取替え、その他の補償はご容赦いただきます。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

記載の社名及び製品名は一般に各社の商標又は登録商標です。